

## 熱水土壤消毒によるハウレンソウケナガコナダニの防除

熱水土壤消毒（処理温水量：150 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ ）によりハウレンソウケナガコナダニの被害を4ヶ月程度減少させることができました。

ハウレンソウケナガコナダニはハウレンソウを加害する害虫で、農薬や化学肥料を減らし、土づくりに有機質資材を積極的に活用するいわゆる環境保全型農業において、問題となっています（図1）。そこで、多くの土壤病害で効果の認められている熱水土壤消毒について検討しました。

熱水土壤消毒（処理温水量：150 $\frac{\text{kg}}{\text{m}^2}$ 、湯温：80℃以上）の効果は少なくとも4ヶ月程度持続し、連続した2作のハウレンソウの被害は無処理区に比べ少なくなりました（図2、表1）。また、熱水土壤消毒を行う場合、ハウス内側の縁にコナダニ類が残り、ここからハウスの内部に移動するので、熱水の散布をできるだけ縁間近まで行うのが重要であることも判りました。

今後は、熱水土壤消毒と同様に高温によりコナダニ類の密度を低下させる太陽熱消毒の効果的な処理条件等を検討すると共に、圃場に施用される有機物の種類・量などを検討し、本種の被害を低減する方法を構築しようと考えています。



図1 ハウレンソウケナガコナダニ成虫とハウレンソウの被害

表1 ハウレンソウのハウレンソウケナガコナダニによる出荷不能割合<sup>1)</sup>

	播種	収穫	出荷不能割合 (%)
熱水処理区	11月16日	2月5日	0
	2月17日	4月7日	10
無処理区	10月7日	11月11日	15
	2月4日	3月25日	100

1) 農家による調査。

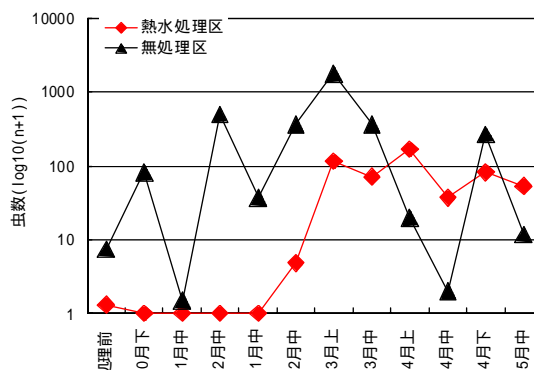


図2 熱水土壤消毒（10月上旬処理）によるコナダニ類の防除効果

問い合わせ先：資源環境研究部病虫グループ（担当：奈良井祐隆）

TEL 0853-22-6698

E-mail: nougi@pref.shimane.lg.jp